

「絵本で生きやすさの世界が広がる」

世界をぐるり！
こども絵本リレープログラム
～ 概要資料 ～



自由な発想と1話完結の絵本を創作 子どもたちが未来への希望をつなぐプログラム

「世界をぐるり！こども絵本リレープログラム」は、小学生や中学生の子どもを対象に、オリジナル絵本「リンちゃんとダーリンの大冒険」から発想し、自分自身を投影した主人公を生み出しながら、それぞれ1話完結の物語をつくる、RINDA foundationの活動の核となるプログラムです。

プログラムでは絵本をつくるだけではなく、自分で絵本の物語をつくる過程で、子どもたちは自分自身を知り、身の回りや地球上の困りごとに目を向け、解決策を探しながら「本当の豊かさ」や「本当の幸せ」について考えていくことができます。絵本づくりを通じて、「内観の追求・自己肯定感・主体性・考える力・コミュニケーション力・想像と創造力」などを育むことができます。

子どもたちの未来を子どもたち自身が豊かにするための希望が、この絵本リレープログラムには詰まっています。今後は各国でのプログラム実施も予定しており、世界中の子どもたちが絵本で繋がりながら、お互いの理解を深めていくこともできます。



2.なぜ「絵本」が効果的なのか

私たち人間は、幼少期に“自分とはこういうものだ”“世界とはこういうものだ”という自分自身の「人生脚本」※を描き、その通りになると言われています。

「こども絵本リレープログラム」では絵本づくりを通じて、子どもたちが元々持っている「種」を見つけ、自分らしさという「根っこ」が育つ土台を築き、それぞれの「花」を咲かせるために、なりたい未来を「人生脚本」に描いてもらいます。

この「人生脚本」を描くと、自分らしい「未来の花」を咲かせるために必要な様々な能力（幹、枝、葉）を身につけていくことができます。

また、子どもたちにとって絵本は「親しみのある存在」であり、子どもたちは「マイキャラクター」や「冒険物語」が大好きです。

そのため、誰もが物語の世界に入り込む楽しさを感じることができます。決まった答えや解釈はなく、無限の物語がひろがります。

「こども絵本リレープログラム」は、認知科学やナラティブセラピー、家族療法などの研究や実践がベースになっています。これらは、教育分野のみならず、スポーツアスリートやアーティスト、医療分野、ビジネス分野（企業研修や起業マインド育成）などにも活用されている実践的なものです。このプログラムを通じて得る学びや経験は、子どもたちが大人になって、どんな分野で活躍するとしても大きな気づきとなってサポートするでしょう。

※「人生脚本」とは、カナダ出身の心理学者であるエリック・バーンが提唱した心理学理論





リンちゃんとダーリンの大冒険 第1話「魔法のコインをさがしに」書籍化！ 2021年2月22日発売

リンちゃんとダーリンの大冒険 第1話「魔法のコインをさがしに」は当時小学3年生だった本間響さんによって生み出された絵本です。物語の主人公は、リンちゃんとダーリン。いろいろなキャラクターに助けられながら、朝日にきらめく山や夜の森や海の底に「まほうのコイン」を探しに行きます。



本間 響さん

私はリンちゃんと同じ9歳の時にこの物語を書きました。ちょうどお父さんがインドでお仕事をするようになって、日本の外の広い世界に興味を持ち始めた時でした。これからもリンちゃん和ダーリンと一緒に、世界中のお友だちと地球を元気にする旅を続けたいです。

東大名誉教授・エコカレッジぐうたら村村長

汐見稔幸さん推薦！



子どもたちが紡ぐ「地球の未来」

子どもたちがこんな素敵にそして個性豊かに、希望をまぶしながら地球という星の未来を語るなんて！逆説的に深い安堵を覚える一冊。

文化創造の大人のチャレンジが子どもの才能を開花する

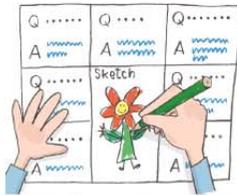
文化は、それを創造した人とそれを広めた人との協働によって、歴史に残り、伝わる。この「絵本リレープログラム」もまた、痛めつけられた地球を救うために発言し、行動しようとする若い世代に場を与え、それを世界につなげていこうとする素晴らしい試みだ！みんなで応援しないと。

4. 「世界をぐるり！こども絵本リレープログラム」の大まかな流れ

①絵本の読み聞かせ



②キャラクター作り



得意なこと、自分の好きな所、大切にしていること、努力をせずできていることなどの複数の質問に答え、キャラクター作り上げる。

③リアルなキャラクター作り



手を動かし、リアルなキャラクターを作ることで、物語の臨場感を醸成。

④ストーリーボードを書く

「〇歳まで生きて、これまでどんなことをして幸せになったか？」など、なりたい未来を想起させる複数の質問に答え、マイキャラクターが登場するストーリーボードを書く。メンターが内面を引き出し、人生脚本を書き上げていく。



⑧世界の困りごとへ直接支援

電子書籍の売上の一部は、財団のスマイル基金へ。自ら支援先と支援方法を選び、生まれた国や環境を超えて、世界の困りごとへアプローチ。



⑦書籍として出版



⑥テーマソングを作る

オリジナル絵本の主人公リンちゃんのテーマソングのメロディをもとに、自分が描いた物語のテーマソングの歌詞を考え、歌を作り上げる。

▼もともになるテーマソング▼
<https://www.youtube.com/watch?v=-gZ0wi2GZcl>

⑤物語を書き上げる

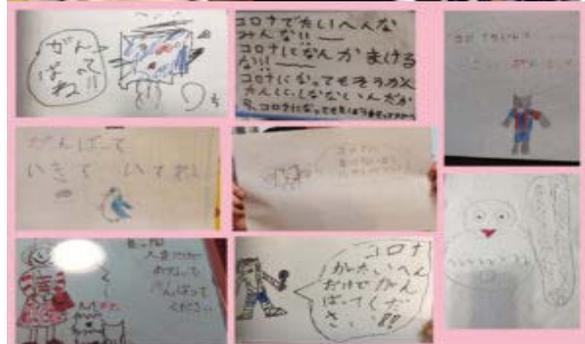
ストーリーボードをもとに、細かい描写を書き加え、物語を作り上げていく。ワークシートに沿って、複数の質問に答えていくと、自然に物語の詳しい描写が想像できて、物語を描いていける仕掛けになっている。書き上げたら、お友達と物語をシェア。



プログラム全体を通じて
「自分とは何者か」「自分の存在価値」を知りながら
子どもたち自身の人生脚本となる冒険物語を描くだけでなく
それによって得たもので、地球上で本当に起きているリアルな困りごとに対して
少しでも解決できるという経験します。

5. 「世界をぐるり！こども絵本リレープログラム」の先にあるもの

創作した物語を電子書籍出版して、集まったお金を、地球上の誰かを笑顔にすることに繋がたい オンラインでこども絵本リレープログラムを実施！



2020年5月、中国で流行り始めた新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中に流行し、日本でも感染者の急増から、これまで誰も経験をしたことがない「外出自粛宣言」が打ち出されました。会社は、リモートワークをするところが増え、学校も休校になりました。入学式も行われず、子どもたちは学校で友達と遊ぶことも、机を並べてお勉強をすることもこれまで普通にできていたことが、できなくなりました。そんな中、一人のお母さんの声かけで、東京都の小学校に通う小学生を10人集めて、Zoomを使った「オンライン こども絵本リレープログラム」を実施することになりました。

5回に分けて行われたプログラムでは、子どもたちがそれぞれ自由に物語を創作し、10人それぞれ10話の物語が完成しました。プログラムの冒頭では、地球を助ける旅に出ている物語に困って、主人公の「リンちゃんとダーリンは、現在、フィリピンに来ていてね、コロナによって、みんなも大変な思いをしているけれど同じ地球には食料が手に入らずに、食べられない子どもたちがいるんだよ」という呼びかけとともにフィリピンのストリートチルドレンに1週間分の食事が配給されている事例が紹介されました。

メッセージを書くとともに、一人100円を持ち寄って、食料費として現地のチャイルドホープという支援団体に届けることになりました。

さらに、このワークショップを通じて子どもたちから「自分たちが創作した物語を電子書籍にして出版して、販売したお金を、地球上の誰かを笑顔にすることに繋がたい」という要望が飛び出してきたのです。

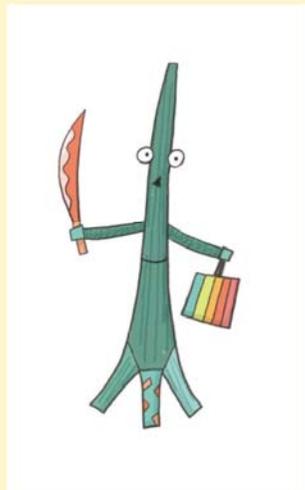
「どのようにして、子どもたちの想いを実現できるか」子どもたちとワークショップ実施をサポートした保護者はアイデア出しや話し合いを行い、「電子書籍の販売方法を子どもたちに教えてくれるボランティアを募集してみよう」ということになりました。そして、子どもたちの「あったら良いな」をみんなの力を集めて実現できるような、RINDA foundationが運営する子どもたちの助け合い掲示板ページ「スマイルツリーの広場」を活用することに決め、これから動き出していく予定です。もしかすると、近い将来、子どもたちの手で創造された素晴らしい10話の作品が、皆様のもとに届く日が来るかもしれません。



子どもたちの物語事例

| | |
|--------|--------------------------|
| 題名 | [Vol.2]「つえだもんと コロナマン」 |
| なまえ・年齢 | けいくん 9才 |
| 宝もの | 魔法のつえ |
| 出身 | 東京都(日本) |

つくったマイキャラクターは...



- キャラクターの名前 つえだもん
- 性別、年齢 なし・999才
- 特徴 世界で一番強い
- すき・きらい すき:人間
きらい:ネズミ
- 魔法の言葉 「ケラーリオーサ」
- 魔法でかなえられること じゅもんをかけた
ら、かけられた物が
その通りになる!
(でも、みんなを幸せ
にすることしか使え
ない)

■本人の感想

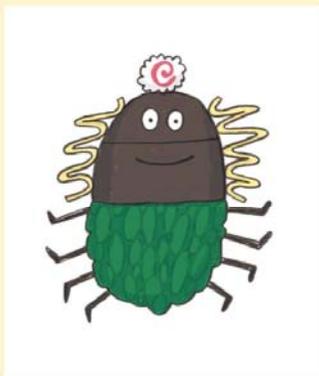
マイキャラクターを最初に作るところが、とても面白かったです。僕はキャラクターを考えるのが好きだからです。僕は文章を書くのが苦手なので、物語を作るなんてできないと思いました。でもリンダコーチが、僕に色々質問をしてくれて、最初はイメージができていなかったことがイメージできるようになり、どんどんお話を書くことができました。ストーリーボードに文を少しずつ順番に書くだけで、つなげると本当に物語になっていたの、とてもびっくりしました。僕の作ったマイキャラクターは「つえだもん」だけでも、リンダコーチの質問から、「コロナマン」にも僕の気持ちが入っていることに気づきました。「つえだもん」も「コロナマン」も、とても気に入っています。物語を自分で作ることができて、とても嬉しかったです。

■保護者の感想

本人が言うように、作文を書いたりすることが苦手で、国語の成績は良くありません。ましてや物語を書くなんて、集中力が続かなかったり、途中で投げ出してしまわないかと思っていました。ところが、お友達と参加したことや、キャラクターを作るところから始まるワークショップだったこともあり、とても楽しそうに取り組んでいたことに驚きました。ストーリーボードには最初、一文ずつしか文章が書かれていませんでしたが、リンダコーチが1 on 1で息子とセッションをして、その言葉の裏側にあるイメージを一つ一つ丁寧に質問をして引き出してくださいました。出来上がった物語を息子が嬉しそうに「これ僕が書いたんだよ」と自信満々に読んでくれた時は、嬉しかったです。息子が書いた物語を通じて、彼の心のヒダに触れることができ、幸せな気持ちになりました。ありがとうございました！



つくったマイキャラクターは...



- キャラクターの名前 ゴキブリラーメンゴージャ
- 性別、年齢 男・9才
- 特徴 すきなものときらいなもの
が体の周りについて敵がきたらこうげする。
頭の上にナルトがついている。
- すき・きらい すき:ラーメン
きらい:ゴージャ
- 魔法の言葉 「ラーメン食べたい」

■本人の感想

キャラクターや物語つくりと聞いて、「難しいかな？」と思ったけれど、ストーリーボードにある質問に一つずつ答えて、メンターさんとおしゃべりをして、最後にそれを順番にくっつけていくと、気づいたら物語ができて、すごくびっくりした！とても楽しかった。キャラクターをととても気に入っています。それから、読み聞かせやおしゃべりタイムも面白かった。またやりたいです。

■保護者の感想

コロナで学校が休校中の中、こんな素敵なワークショップを企画してくださりありがとうございました。
お友達と会えない中、オンラインで久しぶりに画面越しにお友達と会えたことに息子たちがまず大喜びし、そしてお友達と一緒にあって、本当に楽しそうにキャラクター作りや物語づくりを楽しんでいたのがありがたかったです。
最後に出来上がった息子たちの物語を読んでびっくりしました。こんな風に見えるなんて！ありがとうございました！



■本人の感想

ここまで「自分ってどんな人」なのかを考えることがなかったので、知らなかった自分に出会えたり、未来の幸せな自分自身を想像してとてもワクワクしました。

そして物語を書くことが、こんなにも奥が深いと思っていなかったので、これから本を読むときに、もっと感謝して読もうと思いました。物語をふくらませるのが最初は大変そうと思ったけれども、メンターさんがたくさん引き出してくれたので想像が次々に出てきて、とても楽しかったです。またいろんな物語を書いてみたいになりました。お友だちにも、ぜひ、すすめたいです！

つくったマイキャラクターは...



- キャラクターの名前 ランちゃん
- 性別、年齢 女の子/9才
- 特徴
前向きで心優しい
やりたいことは基本的にやる
100年後から来たリンちゃんの生まれ変わり
- すき・きらい すき:動物
きらい:「無理」という言葉が嫌い
- 魔法の言葉 「カムサリト」
- 魔法でかなえられること 魔法の言葉を唱え
ると、人それぞれが、
自分に自信が持てる
ようになる

■保護者の感想

子ども自身の豊かな感性と創造力を思い切り楽しめていた様子でした。イキイキとした表情で発表している姿をみる事ができ、とても嬉しく思いました。

このプログラムでは、娘の心の奥にある大切なものに、親子で気づかせていただき、目頭が熱くなりっぱなしでした。世界中の子どもたちに体感してもらいたいです。心温まる素晴らしい貴重な体験を、本当にありがとうございました。

7.小学校の授業へ導入

世田谷区、日野市の小学校で導入。300人以上の子どもたちに本プログラムを届けました！
今後は全国の小学校の授業へ導入できるよう、進めていく予定です。



8.国内だけでなく、海外の子どもたちへ

年内に、インドの小学校で「世界をぐるり！こども絵本リレープログラム」を展開予定。
また、フィリピンのストリートチルドレンと日本の子どもたちをつなぐ企画を検討しており、
今後は国内だけでなく、世界中の子どもたちの可能性を広げるべく、海外展開もしていきます。



インド・オディシャ州プリーで2004年に開校、幼稚園から高校まで約350名の生徒が通っている
「**Chandra Sekhar Academy** (日本語教育と日本文化を教えるカリキュラムを取り入れた英語教育学校)」とも
連携が決まっており、年内に「世界をぐるり！こども絵本リレープログラム」を実際に授業に取り入れる予定です。

9. 「こども絵本リレープログラム」に欠かせないメンターコーチ

カウンセリング、コーチングの資格保有者、また小学校教師など、子どもの“自由な発想”と“未来の可能性”を広げる、経験豊富な「クリエイティブメンターコーチ陣」



有川 凜
RINDA foundation代表理事。本プログラムを小学校教諭とともに開発。一人でも多くの子どもたちが自分らしく生きられる、そんな世界を目指し、積極的に活動している。



伊東 峻志
小学校教諭。本プログラムの開発を担当しながら、子ども主体のワークショップを核とした授業づくりや探究学習をテーマに取り組んでいる。



佐伯 香那
RINDA foundation JAPAN理事。社会起業家支援をしながら、認知科学に基づくコーチングを強みとし、日々大人や子どもたちにコーチングを行なっている。



太田 祐也
国際メンタルコーチング協会 代表理事。NLP認定マスタートレーナーなど数多くの資格を保有。日本人初の国際ショナルトレーナーとして、国内外で活動中。



安宮 仁美
国際メンタルコーチング協会 専務理事。NLP認定マスタートレーナーなど数多くの資格を保有。オリンピック、パラリンピック選手などのメンタルサポートを行なっている。



鵜川 洋明
ミラクカンパニー株式会社 代表取締役社長。個人や企業向けにコーチング、ワークショップの企画・実施を行なっている。本プログラムで、メンターコーチとして活躍。



小澤 理絵
メンタルコーチ、心理カウンセラーとして活動し、心理カウンセラー、NLPなど各種資格を保有。小中高校生対象のチームスポーツコーチング、大人向けにワークショップを開催。



中本 早紀
カウンセリングルーム プロペラ 代表。児童虐待防止の観点からのアプローチから精神保健福祉士資格を取得し、NLPなどに興味を持つ。カウンセラー、メンタルコーチとして活動中。



金子 美奈子
「多文化共生スポットワールドキッズ」で、副代表として外国に繋がる小中学生への学習を支援。日本語をもっと学びたい子や困りごとを抱える子どもたちのサポートを行なっている。

10. 子どもたちの「未来の可能性」を広げるメンターコーチの存在と育成 RINDA foundation

■絵本リレープログラムの「クリエイティブメンターコーチ」を養成するコーチングスクールを開校

「世界をぐるり！こども絵本リレープログラム」の展開を拡大していくために、子どもの「種」を見つけ、「自由な発想」と「未来の可能性」を広げるクリエイティブメンターコーチを増やしていきます。

そのために、2021年6月、RINDA Academy(学び舎)を新設し、クリエイティブメンターコーチを育成するためのコーチングスクールを開校。まず最初の一歩として、「第1期 クリエイティブメンター養成講座」を今夏に開講。



■クリエイティブメンターコーチ養成講座の特長

| | |
|----|---|
| 01 | メンターコーチとして子ども～大人まで幅広く通用する実践力を身につけられる メンターコーチとして一定の知識を身につける事はもちろんのこと、座学よりも「実践」を重視。そのため養成プログラムの「 <u>50%以上</u> 」はワークや実演による実践です。さらに実用的な経験を積むことができるように、臨床経験として、子ども向け/大人向けのリアルなワークショップを体験できる場を用意しており、すぐに使える力を着実に身につけることができます。 |
| 02 | 国内のみならず、海外の最新理論・技術を学べる 養成プログラムの講師は、国内だけでなく海外でも活躍しています。世界に広がるネットワークで、最新の心理講座をいち早く取り入れています。 <取り入れている最新の理論や技術> ・コーチング ・NLP/ニューコードNLP ・解決志向アプローチ ・エリクソン催眠 ・伝統的催眠 ・ナラティブセラピー ・家族システム療法 ・可能性療法 ・セルフリレーション ・来談者中心療法 ・交流分析 ・認知科学 |
| 03 | 同時に2つの資格が取得できる プログラム修了後、認定試験に合格すると ・クリエイティブメンターコーチ (RINDA Academy認定) ・メンタルコーチ (国際メンタルコーチング協会認定) の2つの資格を取得することが可能です。 |
| 04 | 資格取得後の活躍の場もご用意 資格取得後は、プロコーチ/プロメンターとしてご活躍いただけるだけでなく、RINDA foundationが運営する子ども向けプログラム「世界をぐるり！こども絵本リレープログラム」や「知育プログラム RIN&DA WE」等のクリエイティブメンターコーチとしてご活躍していただくこともできます。また今後は、子ども向けだけでなく「大人向けのワークショップ」も展開していく予定であるため、ご活躍の場が広がります。 <u>さらに国内に限らず海外にも同様に、場を増やしていく予定</u> です。 |

■クリエイティブメンターコーチ養成講座 実践力がつく仕組み

- ・世界的にも最先端の理論と方法論を多く採用
- ・臨床経験豊富でグローバルに活躍する講師陣
- ・フォローアップ体制の充実
- ・少人数制によるきめの細かい指導の徹底

11.RINDA foundation のこれから

RINDA foundation では、「世界をぐるり！こども絵本リレープログラム」を皮切りに、子どもが持っている「種」を引き出す「クリエイティブメンターコーチ」を育成するためのコーチングスクールを今年6月に開校！
今後は、子どもを取り囲む大人たち向けのプログラムの実施、子どもたちが集まり、学べるリアルな場の創設。
さらには、海外の子どもたちへ展開し、子どもたちが人生の可能性を広げるためにキャリア教育やキャリアにつながる実践力を身につける学びの場を増やしていきます。

SMILE
認証制度



メンターコーチ
育成プログラム



大人向け
プログラム



新興国など
海外展開



全国の
公立小学校
授業導入

AI×DB
構想

絵本リレー
プログラム

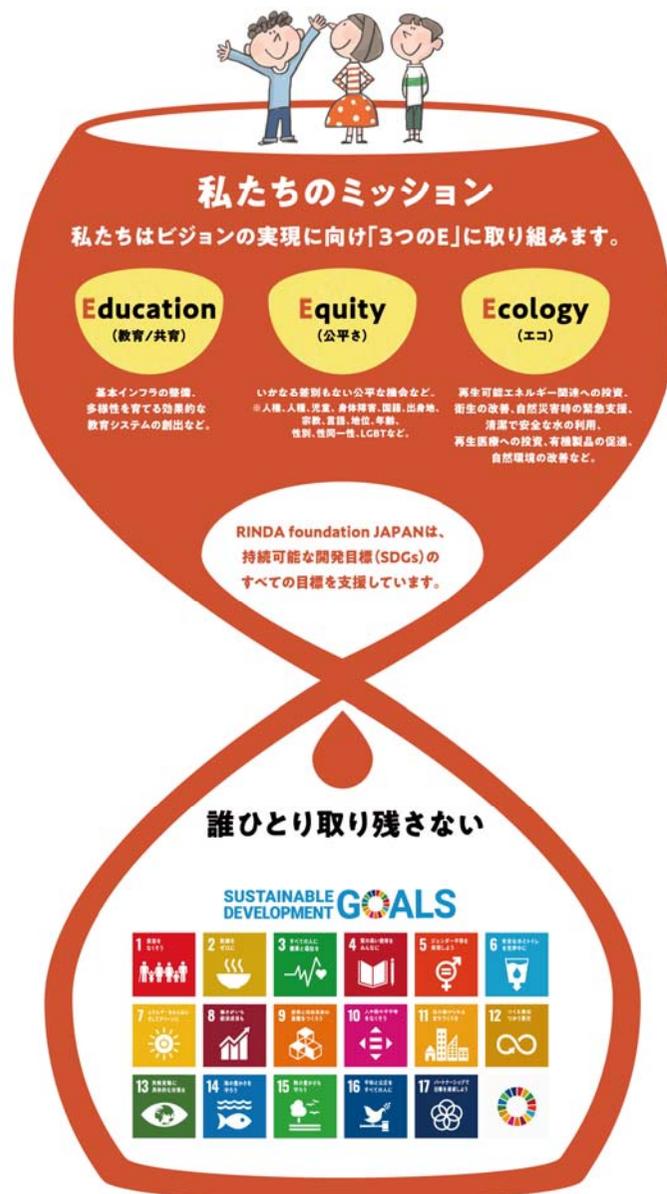


スクール
創設
(RINDA Academy)



現在

未来



生きやすさのEqual (イコール) を目指して

私たちは誰もが奇跡のように「天からの贈り物」として、この地球に生まれました。生まれた場所によって環境は違っていても、地球上の人々に共通するたった一つの事実は、同じ地球に生まれてきた「人」(=地球市民)だということ。

何気なく送っている「日々の生活」も、何気なく「出逢っている人々」も、すべてに「意味」があり、すべてが「奇跡のような出来事の連続」だと感じます。

そこで私からの提案です。

この何気ない日常の中で、一人一人が「少しの思いやり」や「寄り添いあう気持ち」で「声を掛け合う勇気」を持ちませんか？

それがお互いを「笑顔」にし、その一つ一つの小さな積み重ねが、やがて大きな「自信」となります。

産まれてくる場所は自分では選べないし環境は永遠にEqual(イコール)にはなりません。ですが、私たちに「みんなで全体を「±0」にしよう」という姿勢があれば、産まれた後の生きやすさの『Equal』は、きっと作り上げることができるはずです。

お金だけにこだわらず、私たち一人ひとりが持つ才能や個性、モノや行為や環境を活かし合い、力を寄せ合えば、やがて目の前の世界を変えていくような、今はまだ想像すらしていない「生きやすさのEqualという奇跡」だって一緒に作っていける。

私はそう信じています。

SMILE = Sharing Miracle In Life Everyday
(毎日の何気ない生活の中で奇跡を共有する)

RINDA foundation JAPAN 創設者
有川 凜



未来へのプレゼント、一緒に渡しませんか？

RINDA foundation



一般財団法人 RINDA foundation JAPAN

〒182-0002 東京都調布市仙川町3-5-14-402
TEL : 03-5969-8556 FAX : 03-6369-3015 E-mail : info@rinda-f.org
HP : www.rinda-f.org

RINDA
foundation



DECADE
OF >>>
ACTION

RINDA foundation は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています